

三菱電機ロジスティクス労働組合 第58回定期大会 報告

8月21日(土)、第58回定期大会を開催しました。

第57期の活動を確認するとともに、次の一年に向け運動方針の補強案を提案し、すべての議案が可決・承認されました。

また今回の定期大会についても昨年同様コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オンライン開催を行いました。

<委員長挨拶>

本定期大会は昨年決定した2020年度・2021年度活動方針を補強し、活動の充実を図るための中間年度の定期大会である。代議員ならびに支部分会の意見要望を伺いながら、活動方針をより強い方針にしていきたいと思います。みなさまの積極的な発言をお願いします。先ほど議長からはリモート開催となっても、定期大会の意義は変わらないという話をいただきましたが、まさにそ



渡邊中央執行委員長

のとおりである。昨年の大会を思い返すと新型コロナウイルス感染症がまん延し始める中、当労組として初めてリモートを活用した大会をなした。その時点では、今年の大会は集合開催をしたいと願っていたが、ご承知の通り、コロナ禍は昨年よりも厳しい状況であり、2年続けてのリモート開催とさせていただきます。

さて、はじめに21年春季交渉について振り返りたい。既に代表者会議棟で交渉結果についてその経過も含めて説明しているため、ここでは詳細には触れないが、最終的に要求趣旨にそった回答を得ることができたものと考えている。また、各職場においては業務に集中され、忙しい状況と推察するが、今後もより当事者意識を強く持っていただき、次年度の労働状況の在り方について、毎年春季交渉について一人一人が考え、交渉に臨んでいただくことをお願い申し上げます。

次に来季の取り組みについて、特徴点に触れる。上部団体である三菱電機労連ならびに電機連合とともに取り組む参議院選挙の取り組みが展開される。具体的には私たちの上部団体の公認候補である『矢田わか子』氏を支援していきたいと考えている。この活動を政

治活動と捉えるのではなく、私たち一単組だけでは改善、見直しができない政策制度の改善の取り組みの一環、もしくは基盤となる取り組みとして捉えている。三菱電機労連、そして電気産業で働く人たちの集まりである電機連合とともにより働きやすい環境、よりゆとりある生活の実現をめざして、私たちが直接、話ができる方を参議院に送り出し、社会的な政策制度を改善していく中で、私たちのより充実した生活を実現していく取り組みであるので、組合員全員の活動へのご協力を再度お願いする。

また、本日第5号議案で本部役員の改選がある。今季をもって私お退任することとなった。ご挨拶は後ほど申し上げるが、今回は新体制を選出する改選となる。ぜひ、みなさまの温かいお気持ちとともに、新たな体制を選出いただきたい。

リモート開催のため多少の支障も想定されるが、電話なども使いながら連絡を密にして、ぜひ充実した大会にしていただきたいと考えるので、みなさまの忌憚のないご意見を重ねてお願いし、定期大会開催にあたっての冒頭のご挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願ひ申し上げます。

<第58期役員体制>

中央執行委員長	塚原 直樹(新任)
中央副執行委員長	守谷 直樹(新任)
書記長	川島 昂(新任)
中央執行委員	石橋 隆志(再任)
中央執行委員	内田祐一郎(再任)

※前中央執行委員長 渡邊 豊は本大会をもって、退任いたしました。

以上

<大会構成>

代議員定数 30名

本部役員 8名